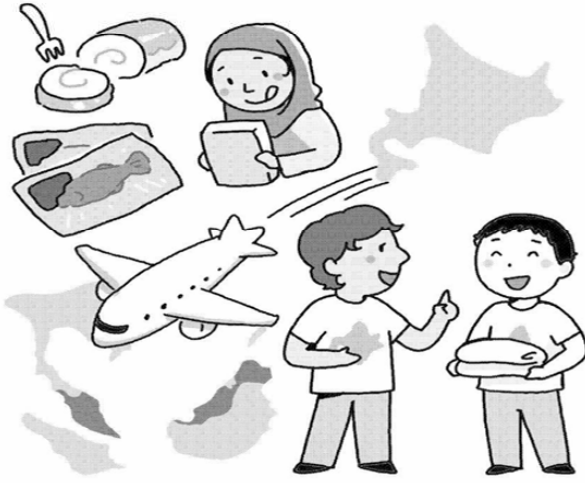




年 組 名前

道新でワークシート

現地数十店も道産食材メニュー



具体的な日程などは今後詰めるが、飲食店や小売店の一角に専用ブースを設け、道産のお菓子、冷凍魚介類、農産物などを販売する。実際の品目は道内企業に呼びかけて選ぶ。10月に1週間程度の期間で開催する方向で、現地のパートナー企業と調整している。

現地の和食レストランに協力を仰ぎ、道産食材を生かしたメニューを開発する。期間中は、クラアルンプール市内の日本料理店や居酒屋、レストランなど数十店で、道産食材を生かしたメニューを提供

マレーシアへの道産品の輸出支援事業を行っているノーザンランド(釧路浅井工務社長)は10月にも、道産のお菓子や水産物の販売、道産食材を使ったメニューを提供する催し「北海道WEEK(ウィーク)」を、首都クラールンプールで開く。北海道の知名度やブランド力を高め、輸出促進や観光振興などにつながる狙いだ。

マレーシアで「北海道週間」

釧路のノーザンランド 10月フェア、輸出促進狙う

期間中は、「北海道」の文字や地図が入ったTシャツも配布し、地元の大新聞で取り上げってもらうなどの広報活動も行う予定だ。

マレーシアでは近年、北海道の物産展が開かれる頻度が増えている。日本や北海道を訪れるきっかけにもなっているという。ノーザンランドは今後、年に1回のペースで同様の催しを開く方針で、北島政直事務局長は「輸出を推し進めるだけでなく、北海道の観光PRにもつなげていきたい」と話している。

してもらおう。各店を巡ると景品がもらえるスタンプラリーも行い、道産食材の魅力をアピールする。



2017年4月21日朝刊経済面

①「北海道週間」のねらいを書きなさい。

②「北海道週間」ではどのようなことが企画されていますか。また、記事に書かれていること以外にどのようなPR方法が考えられるか、書きなさい。

(企画内容)

(記事以外のPR方法)